

eX WP 検証済みライティングソフトウェア/USBメモリ

項目	メーカー名	検証済みソフトウェア/USBメモリ名称	
ライティングソフトウェア	BHA	B's Recorder GOLD 9	
	Nero	nero 7	
	Roxio		Easy Media Creator 9
			RecordNow 9
			Creator NXT 7
	Ulead	WinCDR 9	
Microsoft	Windows 標準ライティング機能 Windows Media Player 11		
パケットライティングソフトウェア	BHA	B's CLIP 7	
	Roxio	DragToDisc	
	Sonic	DLA	
	Microsoft	Windows パケットライティング機能	
USBメモリ	BUFFALO ※1	RUF2-HSC2GUW	
		RUF2-HSC1GW	
		RUF2-HSCL-1G	
		RUF2-HSC-MGR	
		RUF2-HSC-2GTV	
		RUF2-FHS4G	
		RUF2-SC512 ※2	
		RUF2-FHS2G	
		RUF2-HSC-2GTVA5	
		RUF3-JM8GS-BK ※2	
		RUF3-HSTVシリーズ ※6	
		RUF3-HSLシリーズ	
		RUF3-HSシリーズ	
		RUF3-HSLTVシリーズ	
	RUF2-HSCLTVA3		
	RUF3-KVシリーズ		
	I-O DATA ※1		ED-V1G
			ED-V3/1G
			ED-S2/1GA
			ED-S3/1G
			ED-SV3/1G
			ED-E1GA
			ED-E3/1G
			EDS-ECO256
			ED-SC3/2G
			ED-CCV2G ※3
			ED-CCV2G ※3
	SONY		FIU-850-M03
			FIU-850-C04 ※4
			FIU-850-D04
	HAGIWARA ※1		HUD-PL1GAVSL
			HUD-PL302GM ※3
			HUD-PUVM302GA1 ※3
			HUD-PUVM302GM1 ※3
	ELECOM ※1		MF-PUVT302GA1
			MF-PUVT302GM1
			MF-ENU3A04GBK
	ED Contrive ※1		SD-Container 5.0
			SD-Container 5.0V
			SD-Shelter 2.0
			TRAVENTY for eXWP
			TRAVENTY V for eXWP
			TRAVENTY CG ※5
			TRAVENTY CG V ※5
			TRAVENTY SuperVision
			TRAVENTY V SuperVision
			TRAVENTY3
			TRAVENTY3
	McAfee		USB-ST02-1GBP
	備考	<p>※1 Windows 2000またはWindows XPにおいてユーザ権限で使用すると、プロダクトIDがセキュリティログイン前後で変化します。そのため、以下の手順でセキュリティログイン前後のプロダクトIDを使用した承認KEYの埋め込みを行う必要があります。この作業はWindows2000、またはWindows XPにて行ってください。</p> <p>[手順]</p> <ol style="list-style-type: none"> 1.ユーザ権限にてログインする。 2.対象のUSBメモリをPCへ接続する。 3.USBメモリにセキュリティログインする。 4.管理者メニューを実行する。 5.【USBメモリ承認】ボタンを押し、USBメモリ承認画面を表示する。 6.グループ名を適宜設定した後、【承認】ボタンを押すことで、承認KEYをセキュリティ領域へ埋め込む。 7.USBメモリを一度PCから抜く。 8.管理者権限にてログインする。 9.対象のUSBメモリをPCへ接続する。 10.USBメモリにセキュリティログインする。 11.管理者メニューを実行する。 12.【USBメモリ承認】ボタンを押し、USBメモリ承認画面を表示する。 13.グループ名を適宜設定した後、【承認】ボタンを押すことで、承認KEYをセキュリティ領域へ埋め込む。 14.USBメモリを一度PCから抜く。 <p>※2 読み込みと書き込み両方を禁止するモードに設定しても、読み込み禁止が行えません。書き出しは禁止されます。</p> <p>※3 eX WPが外部デバイス読み込み禁止モードで動作している場合、ED-CCVのセキュリティ保護領域の解除を行う「SDLauncher.exe」の起動ができません。このため、承認USBメモリ機能が利用できません。イネーブラによる一時書き出し許可機能は利用可能です。</p> <p>※4 eX WPが外部デバイス読み込み禁止モードで動作している場合、「ファイル名を指定して実行」メニューから保護領域の解除を行う「UserMgr.exe」を実行することができません。</p> <p>※5 オフィス内モードとオフィス外モードの2つのコピーガード機能のうち、eXWP導入環境下では、オフィス内モードのみサポート可能です。</p> <p>※6 eX WPが外部デバイス読み込み禁止モードで動作している場合、USBメモリのパスワード認証後にTrend Micro USB Securityの起動に失敗したメッセージが表示されます。読み込みを許可している場合は表示されません。</p> <p>・2020年3月31日時点で、弊社にて動作検証が完了しているライティングソフトウェア/USBメモリです。記載されていない製品につきましては、お問い合わせください。</p>	